

日本分析化学会九州支部 2016年度 第2回常任幹事会 議事要旨

日時：平成29年2月18日（土）13時00分～15時00分

場所：九州工業大学戸畑キャンパス教育研究8号棟3階C-303室

出席者（敬称略・順不同）：竹中繁織（支部長）、戸田敬（次期支部長）、王子田彰夫（副支部長）、満尾良弘（副支部長）、木下将和（監査）、肥後盛秀（監査）、佐藤しのぶ（庶務幹事）、末田慎二（会計幹事）、中村博（参与）、井倉則之（常任幹事・次期副支部長）、川上健次（常任幹事）、河済博文（常任幹事）、黒田直敬（常任幹事）、浜瀬健司（常任幹事）、原田雅章（常任幹事・分析化学編集員）、松田直樹（常任幹事）、森健（常任幹事）、富安卓滋（ぶんせき編集委員）、原田明（本部理事）、大平慎一（次期庶務幹事）、田中明（次期会計幹事）

議題

1. 報告事項

1) 2016年度支部報告済事業

1) 九州分析化学若手の会（佐藤庶務幹事）

第29回九州分析化学若手の会春の講演会

第34回九州分析化学若手の会夏季セミナー

幹事会で報告した概要の確認が行われた。

2) 九州分析化学会賞・奨励賞（佐藤庶務幹事）

幹事会で報告した概要の確認が行われた。

3) 第53回化学関連支部合同九州大会・九州分析化学ポスター賞 （佐藤庶務幹事）

幹事会で報告した概要の確認が行われた。

4) 第57回分析化学講習会（井倉常任幹事）

幹事会で報告した概要の確認が行われた。

また、次年度から、前年度執行部（もしくは、前年度執行部による任命者）が世話人として対応することが確認された。

5) 機器分析ワークショップ（川上常任幹事）

幹事会で報告した概要の確認が行われた。

2) 支部関連会議（佐藤庶務幹事）

第2回常任幹事会を含めて5回の会議が開催された。

3) 学会共催（佐藤庶務幹事）

H28年12月1-2日に熊本で開催された第33回イオンクロマトグラフィー討論会について、世話人の大平先生（熊本大学）から開催概要について説明がなされた。

4) 分析化学会九州支部創立60周年記念会・見学会（竹中支部長）

H28年11月18日に開催された分析化学会九州支部創立60周年記念会・見学会の報告がなされた。

5) 理事会報告（原田理事）

幹事会以降の議事について報告がなされた。

本部のキャッシュフロー状況については、よくなっている。

定款を現状に見合うように修正している。

日本分析化学会第66年会は本部企画となる。

マイナンバー制度施行に伴い、5万円を超える謝金を支払う場合、個人番号を本部に提供する必要がある。

マイクロ分析研究懇談会が立ち上がり、九州内でも関連する先生がいる。

6) 2016年度支部会計報告（末田会計幹事）

第2回常任幹事会費用まで含めた会計報告がなされた。まだ残務のため若干の差異は出るが、およそこの報告通りになる予定であることと、本年度は北九州で幹事会と第2回常任幹事会を開催したため、会議費と旅費が例年（福岡に支部がある場合）と比べ、増えたことが報告された。また、支部奨励賞受賞者が例年よりも多かったため、表彰費が例年より多くなっていることが報告された。2016年度は当初予定していた第64年会の余剰金の一部が支部に返還されず、予算が足りない状況で開始されたが、本部より震災対応等経費が支給されたことにより、予算内で運営することができた。

7) 各誌編集委員会報告

1) Analytical Sciences（佐藤庶務幹事）

2018年1月、6月掲載予定のPaper fluidic device、Atomic Spectrometryの特集号について、協力を仰ぐ旨が報告された。今後、Revision過程における著者の所属の変更が認められないことが報告された。

2) 分析化学（原田編集委員）

幹事会以降に委員会が開催されなかったため報告事項はなかった。

3) ぶんせき（富安編集委員）

解説・展望・講義および進歩総説に関する原稿依頼について、不足しており、原稿協力について依頼された。2016年度の支部担当記事について報告がなされた。

2. 審議事項

1) 2017年度支部・本部関係役員（佐藤庶務幹事）

12月に支部長より今年度役員に次年度役員候補選定の依頼が出され、それを元に作成して本部に提出した資料について説明がなされ、了承された。また、次年度副支部長について、戸田次期支部長から説明がなされた。

2) 支部役員の変更（佐藤庶務幹事）

1人の幹事の追加について説明がなされ、承認された。また、今後春の講演会、夏季セミナーの世話人には、少なくとも担当セミナーの前年度の幹事会までに幹事になってもらうことが、提案され、承認された。幹事会での旅費の支給を行えるようにするためである。

3) 2017年度支部予算（末田会計幹事）

例年に従って予算を立てたことが説明された。

支出の部では、次期執行部は熊本となるため、2016年度の支出を参考に見積もったことが説明された。表彰については、2015年度の支出を参考に見積もったことが説明された。2017年度については、おおむね問題なく施行できそうであることが説明された。

4) 2017年度支部事業計画（佐藤庶務幹事）

研究発表会、講演会、講習会、その他として以下の計画概要の説明がなされた。

5) 第54回化学関連支部合同九州大会（佐藤庶務幹事）

2017年度より申し込みHPでポスター賞規定を確認できるようになることが報告された。依頼講演は高椋利幸(佐賀大学)、座長は竹中支部長であることが報告された。また、2016年度は秋に開催された産学ユースフォーラムが、再び化学関連支部合同九州大会で開催されることが報告された。

6) 第30回九州分析化学若手の会春の講演会（佐藤庶務幹事）

代表世話人の佐藤(庶務幹事)より会告案を用いて説明がなされ、了承された。本会告案を常任幹事会終了後の2月24日にぶんせき誌4月号のお知らせ欄への掲載依頼を行った。

7) 第35回九州分析化学若手の会夏季セミナー（佐藤庶務幹事）

開催計画について了承された。

9) その他

九州分析化学会賞・奨励賞（竹中支部長）

本支部賞の説明と推薦の依頼がなされた。

2017年度支部役員名簿（佐藤庶務幹事）

次年度名簿について説明がなされた。

2019年分析化学討論会について（竹中支部長）

2019年度の分析化学討論会は九州開催であり、その開催地について、議論された。これまでに開催のなかった、北九州、熊本、大分、宮崎のうち、北九州・宮崎での開催について議論された。宮崎については、次年度の宮崎担当の常任幹事に問い合わせることとなった。

以上